## 土地税制、不動産融資規制 土地担保融資の収縮 中央銀行 (株式の)投機的信用の収縮 政策金利 倒産や失業 (バブルの崩壊) 貸出先企業の 地価の下落 収益悪化や破綻 株価の下落 銀行のB/S 株式の含み益の減少、 破綻した企業の <u>含み損の増加</u> 返済の延滞や不履行 担保(土地)の売却 (不稼働資産の増加) (焦げつく) (不良債権の増加) 売り抜けや投げ売り による株価下落 貸出債権や担保の減価 貸倒引当金の増加 収益減少 [BIS規制] (現金準備の減少) 剰余金(内部留保)の減少 信用収縮 自己資本の減少 自己資本比率の低下 貸出態度の厳格化 (融資基準の厳格化) 現金準備不足の恐れ 資産の投げ売り 貸し剥がし 預金の流出、銀行取付け インターバンク市場の 資金枯渇=信用麻痺 コールマネーの減少 (銀行間信用の収縮)

## 地価と株価のバブルの崩壊が銀行のB/Sにもたらす影響 V.2

B/S balance sheet 貸借対照表

BIS規制(1988年7月)

最低自己資本比率≧8%

=(自己資本+株式含み益×0.45)/(国債+金融機関向け債権×0.8+住宅ローン×0.5など)

銀行の経営破綻